

## 平成21年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 採択プロジェクト一覧

計画名	研究開発の要約	主たる技術	事業管理者	法認定事業者
組織制御型高強度・高機能鋳鉄製自動車用部材の製造技術開発	本プロジェクトでは、鋳鉄の黒鉛形態と基地組織を制御し傾斜高機能化することにより自動車用部材であるインペラー、プーリー、ブレーキディスクを対象に鋳鉄部材を高強度化する。また自動車産業と関連して、自動車部品をつくるプレス金型を構成する鋳鉄部材の高強度化を図る。さらに部位毎に異なる組織の確からしさを計測する技術として、実体品を超音波法により非破壊で試験する技術を確立する。	鋳造	国立大学法人岩手大学(岩手県)	株式会社及精鑄造所(岩手県) 株式会社柴田製作所(山形県) 有限会社前田鑄工所(岩手県) 有限会社日下レアメタル研究所(東京都)
高速・高分解能で製品のばらつきに強い外観検査技術の開発	電子実装基板の微細化、多層化、3次元実装化に対応し、目視検査に代わる高精度で製品のばらつきに強い自動外観検査が求められている。この課題に対応し、製品の伸縮、変形、層ずれなどに対し不感帯を必要としない高感度検査技術、HSV変換を用いて部位抽出を行なうリアルタイムカラー処理技術、統計処理を用いた自動欠陥分類技術の開発を行う。また、これらの成果を搭載した高速・高分解能で低コストの外観検査装置を構築する。	電子部品・デバイスの実装	財団法人あきた企業活性化センター(秋田県)	インスペック株式会社(秋田県)
分子接着技術等を用いた表面平滑銅配線基板等の次世代実装技術の開発	プリント配線基板は自動車関連電子機器の信頼性(安全性・快適性の向上)の確保に関する課題を有しており、これらは配線の平滑化、細線化及び矩形化、基板との密着性、及び耐振動性など、線形状、接着特性及び材料特性の改善により達成できる。本研究では、エントロピー弾性体、トリアジン系分子接着剤を用いることで上記改善を達成した、次世代実装技術の開発を行う。	電子部品・デバイスの実装	財団法人いわて産業振興センター(岩手県)	株式会社いおう化学研究所(岩手県) 三協化成株式会社(大阪府) 株式会社東亜エレクトロニクス(岩手県)